



新年度のSSH活動スタート

～ 平成27年度SSH事業1年間の継続校に指定されました ～

諏訪清陵高等学校は平成14(2002)年にSSH事業が発足した当初の全国指定校26校のうちの一つで、その後、平成17(2005)年の再指定を経て、平成22(2010)年度再々指定(5年間)を受け、昨年度まで13年間にわたり「先進的な理数系教育を実施することにより、将来の国際的な科学技術関係人材を育成すること」を目的として、「観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習の手法、創造性・独創性を高める指導方法の研究開発、国際性を育てるための海外科学セミナー(アラスカ研修)」などの取組みを大学、企業等と連携しながら実施してきました。

平成27年度からもSSH事業を発展継続するために新規SSH事業を申請していたところ、5年間の指定は得られませんでした。1年間のSSH経過措置校として今までの教育課程を実施することが文部科学省から認められました(平成22年度指定校継続1年)。そこで、平成27年度SSH事業は、基本的に昨年度までの事業と変わらず実施します。

この1年間は、第3期13年間のSSH事業の課題と成果を検討したうえ、その財産を今後の諏訪清陵高等学校及び附属中学校の教育課程に生かせるように取組む予定です。中・高・大・企業連携、教育課程、探究的取組、科学系クラブの支援やサイエンスダイアログ事業の活用、そして教育評価の手法等を今後も本校の教育に生かしていきます。

本年度は新たに1年生においては「SSH情報」を発展させた「SSH探究」を設定し、課題探究におけるテーマ設定、探究方法そしてプレゼンテーションの方法の学習をICT機器を活用しながら学習します。すなわち、「課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学び」、アクティブラーニングで実施します。その学習経験のうえに2学年全員には既存の「SSH情報」で文理の枠を超えた一人一研究を、2,3年SSHコースの諸君には「理数課題研究」「スーパーサイエンス(SSHゼミナール)」で課題探究を実施して、課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを深めていく予定です。

その他にも新たな融合型科目として「数理基礎」を1年生で実施予定です。海外科学セミナー(アラスカ研修)も予定通り実施し、英語を活用した課題探究の発表、英語による自然科学分野の講義の受講、極地課題探究を実施します。以上のような取組みは、本年度の中学1年生が高校3年生になった時に対象となる予定(平成32年度)の「合教科・科目型」「総合型」の出題がなされる「大学入学希望者学力評価テスト」への対応も視野に入れた取組です。SSH事業の成果、財産を今後も本校の教育に生かしていきます。



「SSH探究(情報)」ではICT機器を活用したアクティブラーニングを実施



企業と連携した講座で最先端の科学技術を体験 セイコーエプソン株式会社による「分析化学体験講座」



SSH課題探究・SSH情報発表会、附属中学校学習発表会



工学院大学・諏訪市と連携して実施する「理科教室」